

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2014. 3. 31

下水道機構の『新技術情報』 第135号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

機構の窓からは桜は見えませんが、目の前を流れる神田川には、桜の花びらが漂い始めました。○。☆今日で平成25年度も終わりですね。ご愛読ありがとうございます。来年度もどうぞよろしくお願いいたします♪

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第135号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・3/27(木)に新技術研究成果証明書交付式を開催しました

■機構の動き

- ・今週は、特に行事はありません

■Tea Break

- ・大好きな空間☆ (研究第一部 カフェ大好き♪さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回は、福岡から満開の桜をお届けします！

■国からの情報

- ・3/28付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。

●3/27(木)に新技術研究成果証明書交付式を開催しました

当日は、以下の5件について、成果証明書を交付しました。

今後、当機構では、マニュアル活用講習会等を通じて、これらの技術を広く普及させていきます。

① 究名称：大規模災害に対する早期機能回復のための情報システムのあり方と構築方法に関する共同研究

共同研究者：株式会社東芝、株式会社日立製作所、三菱電機株式会社、株式会社明電

舎、

メタウォーター株式会社（計5社）

②研究名称：XバンドMPレーダ情報利活用に関する共同研究

共同研究者：オリジナル設計株式会社、株式会社中央設計技術研究所、株式会社東京設計事務所、株式会社東芝、中日本建設コンサルタント株式会社、株式会社日水コン、日本上下水道設計株式会社、日本水工設計株式会社、株式会社ニュージェック、三菱電機株式会社、メタウォーター株式会社（計11社）

③研究名称：活性汚泥法等の省エネルギー化技術に関する共同研究

共同研究者：株式会社石垣、川崎重工業株式会社、クボタ環境サービス株式会社、三機工業株式会社、株式会社東京設計事務所、日本上下水道設計株式会社、前澤工業株式会社、メタウォーター株式会社、株式会社安川電機（計9社）

④研究名称：バイナリー発電に関する共同研究

共同研究者：株式会社神鋼環境ソリューション

⑤研究名称：補助燃料ゼロを目指した脱水、焼却システムに関する共同研究

共同研究者：岐阜市、メタウォーター株式会社、月島機械株式会社（計3社）

。○○。

機構の動き（機構の行事予定です）

。○○。

○平成26年4月10日(木)17:00~18:00

行 事：第325回技術サロン

場 所：機構8階 中会議室

ゲスト：東京都下水道局 計画調整部計画課長 新谷康之 氏

テーマ：「東京下水道の事業展開

~2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて~」

※参加お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○○。

Tea Break（機構職員の感じるまま）

。○○。

●大好きな空間☆（研究第一部 カフェ大好き♪さんからの投稿です）

皆さんはお昼休みをどのように過ごされていますか？

良い意味でも悪い意味でも影響されやすい私は、良い気が流れている空間にいることを大切にしています。

下水道機構でも、歩いて 10 分ぐらいの所にお気に入りのカフェを見つけ、ランチにせっせと通っています♪今日はその中の 1 つをご紹介します。

神楽坂の坂を上りきったところにあるクラシックな店構えのそのカフェは、中に入ると、お洒落でダンディーなマスターの笑顔と趣味でちりばめられたアンティークのインテリアが迎えてくれます。壁には 1950 年代 60 年代を感じさせるポスターがセンス良く飾られ、拘りのティーカップが整然と並んでいるボードの上には、大きな鏡とお花があり、ヨーロッパのカフェにいるような感覚です。

それだけではありません！このカフェは、アンティーク時計が趣味の元航空管制官のマスターが開いているので、店内はアンティークの腕時計が陳列され、飛行機好きにはたまらないディスプレイもあるのです！

お料理も美味しく、紅茶やコーヒー、ワインにも拘っている、個性豊かなお店なのです！・・・と熱く語ってしまいましたが、このお店は、お腹を満たすだけではなく、気持ちもリセットされ、午後の仕事にフレッシュな気持ちで取り組める、私にとっては大切な空間なのです。桜も咲き始めワクワクする季節になってきました。みなさんもカフェランチ、いかがですか♪

。○○。

まる子の結まーる （皆様との交流の場です）

。○○。

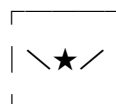
●今回は、福岡から満開の桜をお届けします！

※福岡へ出張をした研究員さんからの投稿です。

詳しくはこちら→ <http://www.jiwet.or.jp/yuimaru2014-3-31>

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、

掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

・高効率固液分離技術と二点DO制御技術を用いた省エネ型水処理技術の実証事業
(実施者：前澤工業(株)・(株)石垣・日本下水道事業団・埼玉県 共同研究
体)

④ICTによる既存施設を活用した戦略的水処理管理技術

・ICTを活用した効率的な硝化運転制御の実用化に関する技術実証事業(実施者：茨
城県・(株)日立製作所 共同研究体)

・ICTを活用したプロセス制御とリモート診断による効率的な水処理運転管理技術実証
事業(実施者：(株)東芝・日本下水道事業団・福岡県・(公財)福岡県下水道管
理センター 共同研究体)

⑤既存施設を活用したICTによる都市浸水対策機能向上技術

・ICTを活用した浸水対策施設運用支援システム実用化に関する技術実証事業(実施
者：広島市・(一社)日本下水道光ファイバー技術協会・日本上下水道設計(株)
・日本ヒューム(株) 共同研究体)

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000240.html

○滋賀県が水・環境ソリューションハブ(WES Hub)への新規登録団体に加わりました
【下水道企画課】

国土交通省では、平成24年4月に水・環境ソリューションハブ(WES Hub)を発足さ
せ、我が国の下水道事業運営ノウハウを必要とする国々にそれらのノウハウを提供し
てきました。平成26年3月28日(金)、水・環境ソリューションハブ(WES Hub)
運営委員会が開催され、新規参入候補自治体に対する審査が行われた結果、滋賀県が
新たに水・環境ソリューションハブの登録団体として承認され、同日登録証授与式が
開催されました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000239.html

○平成26年度予算の成立について【下水道事業課】

3月20日、平成26年度予算が政府案のとおり成立しました。国土交通省関係予算に
ついては、巨大台風や巨大地震に備えるための防災・減災対策、高度成長期以降に集
中的に整備されたインフラの老朽化対策、アジア諸国の成長が著しい中、激化する都
市間競争に勝ち抜くための国際競争力の強化など我が国が直面する課題に緊急に取り
組むため、「東日本大震災からの復興加速」、「国民の安全・安心の確保」及び「経
済・地域の活性化」の3分野に重点化して計上しています。

下水道事業については、社会資本整備総合交付金1兆8、436億円及び防災・安
全交付金1兆9、964億円の各内数等として計上されています。

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo05_hy_000592.html

○高度処理ナレッジ集について【流域管理官】

閉鎖性水域における早期水質改善のための高度処理化を一層推進するため平成26年
1月に設置した「高度処理ナレッジ創造戦略会議」において、各地域で実施されてい
る既存施設を活用した高度処理の事例、運転管理ナレッジを「高度処理ナレッジ集」
としてとりまとめました。

本書を活用し、既存施設を活用した部分的な改造や運転管理の工夫による処理水質

向上の取組や運転管理技術の開発が進められることを期待しています。

http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo05_hh_000101.html

○栄養塩類の循環バランスに配慮した運転管理ナレッジに関する事例集について

【流域管理官】

平成24年度にとりまとめられた水環境マネジメント検討会報告書では地域特性に応じた「能動的」な下水道事業の推進の必要性が謳われました。このたび、地域の実情に応じて試行的に季節的な調整運転などの取組を試行的に実施している事例を、「栄養塩類の循環バランスに配慮した運転管理ナレッジに関する事例集」としてとりまとめました。同様の取組を検討する際にご参照ください。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000332.html

●北海道版「下水道場」（仮称）設立会議が開催されました【北海道】

北海道と北海道地方下水道協会は2月25日（火）、札幌市下水道庁舎会議室において、「北海道版「下水道場」（仮称）設立会議」を開催いたしました。（参加者：北海道内42自治体から45名）

本会議は国土交通省で若手職員による情報ネットワーク「下水道場」が設立されたことを受け、北海道においても下水道事業担当職員が広く集まり情報交換する場の提供や人的ネットワークづくりが必要と考えられることから設立したものです。

本会議では下水道企画課茨木課長補佐から基調講演をいただいた後、各班（全8班）毎に活発な議論が行われ、事業上の課題や本会の活動内容等について発表し参加者で共有すると共に看板となる本会の名称『～共に創る未来の下水道～「北の下水道場」』を決定しました。

今後も1年に2回程度の開催を予定しており、本会議を通して北海道内各地域における下水道事業の円滑な執行、将来の持続的・安定的な運営に寄与することを目指しております。

●福岡ソフトバンクホークスのマスコットがマンホールのふたに！【福岡市】

福岡ソフトバンクと福岡市では、地下鉄唐人町駅とヤフオクドームの間のマンホール16カ所に、ハリーホークやホークファミリーを描いたふたを設置することとしました。

ヤフオクドームへの誘導や地域の賑わいづくり、下水道事業の新たなPRなどを目的とするものです。

<http://www.nishinippon.co.jp/hawks/article/78295>

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■「海外水循環ソリューション国際シンポジウム in 北九州」の開催について

【北九州市】

(4月11日開催)

https://www.omico.jp/nedo/mizujunkan_sympo/index.html

→3月20日掲載

■研究集会「未来の下水道システムを探索する」－活性汚泥法誕生百年記念－の開催
について【NPO21世紀水倶楽部】

(4月10日開催)

<http://www.21water.jp/>

→2月21日掲載

=====

【参考情報】

◆上智大、被災地向け水浄化装置開発－マイクロ波で殺菌<3/21 朝日新聞>

http://www.asahi.com/tech_science/nikkanko/Cnikkanko20140321004.html

◆汚泥再生処理施設「環境衛生センター」完成 串本・古座川町<3/21 紀伊民報>

<http://www.agara.co.jp/modules/dailynews/article.php?storyid=270366>

◆バイオマス発電導入へ／高松市東部下水処理場<3/22 四国新聞>

http://www.shikoku-np.co.jp/kagawa_news/administration/20140322000144

◆上川河口部に沈殿ピット 諏訪湖浄化対策で計画<3/23 長野日報>

<http://www.nagano-np.co.jp/modules/news/article.php?storyid=30929>

◆兵庫県、津波被害想定をCG動画で公開へ 南海トラフ地震備え<3/25 日本経済新聞>

http://www.nikkei.com/article/DGXNASJB2403V_U4A320C1LDA000/

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから

→<http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140116/>

○ニューズレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20130403/seikai4.pdf>
